

第34回国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)世界大会において ポーラ化成工業が口頭発表アプライド部門で「Top5」に選出

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:片桐崇行)は、2024年10月14日～17日にブラジル・イグアスで開催された第34回国際化粧品技術者会連盟(以下IFSCC)世界大会にて発表を行い、B.A リサーチセンター センター長の**大石** 貴矢 研究員が口頭発表アプライド部門において「Top5」に選出されました。なお、この他にもポーラ化成工業の発表論文はポスター発表部門にて「最優秀賞」を受賞、同部門において「Top10」にも選出されました。

IFSCC は化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会です。ポーラ化成工業の同大会の**アワード受賞は9度目**で、世界第3位の受賞回数を記録しています。

ポーラ化成工業は今後も既存の枠に捉われない研究開発でお客様の豊かで彩りある人生に貢献します。

受賞した研究について

化粧品は顔の見た目を装うだけでなく、使うことで感覚を刺激し心地よさや高揚感を感じさせてくれます。ポーラ化成工業では、化粧品を使用した際のユーザー体験を全く新しいものにしたと、**魅力を「感じる」仕組み**について**脳のメカニズムから紐解く研究**を行い、脳の anterior prefrontal cortex (aPFC) という部位が複数の感覚において**魅力認知の要**である可能性を発見しました。

■発表論文

『化粧品がもたらすある一つの感覚体験は、脳を通じて多感覚で感じる印象に影響しうるか？』

～ 従来の化粧品の役割を超えた、感覚変容ツールとしての新たな可能性 ～

英文名: “ Does the cosmetic stimulation of brain regions involved in multiple senses amplify multisensory perception? ~ Beyond their traditional benefits, cosmetics as potential sensory transformation tools. ~ ”

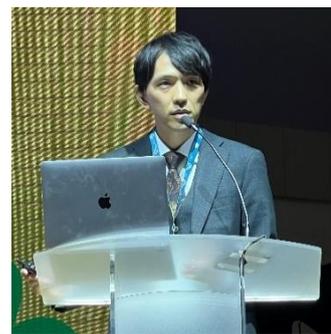
発表者: 大石 貴矢、岡部 伊織、張 優希、藤井 恵、濱中 祥弘、楊 暁光、水越 興治
ポーラ化成工業(株) フロンティアリサーチセンター *下線が当日発表者

■発表内容概要

顔を見て魅力を感じたときに活性化することがわかっている脳の aPFC という部位を磁気で刺激し活性化させると、視覚・触覚で魅力印象が高まることを発見しました。今後、化粧品の感触や香りで aPFC を活性化できれば、「化粧品は五感で感じる全ての日常体験をより魅力的に感じさせ、一人ひとりの Well-being を高める“感覚変容ツール”になり得る」と考えられます。

詳細: 「ポーラ化成工業、世界的に権威ある化粧品技術者学会にて発表 化粧品の感覚変容ツールとしての可能性を発見 化粧品を使うことで五感で感じる日常体験を魅力的に」(2024年10月10日)

http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20241010_3.pdf



大石 貴矢 研究員

【補足資料 1】 IFSCC 世界大会について

IFSCC 世界大会は、世界中の化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会で、応募論文は IFSCC の厳正な審査を受け、選ばれたものだけに発表が許されます。今大会では、全 688 件の研究報告(口頭発表 83 件、ポスター発表 605 件)が行われました。

ポーラ化成工業による IFSCC 世界大会受賞歴

2015 年 チューリッヒ中間大会 最優秀賞(口頭発表部門)

2014 年 バリ大会 最優秀賞(口頭発表基礎部門)

2012 年 ヨハネスブルク大会 最優秀賞(ポスター発表部門)

2008 年 バルセロナ大会 最優秀賞(口頭発表基礎部門)

1998 年 カンヌ大会 最優秀賞

1996 年 シドニー大会 優秀賞

1994 年 ベネチア大会 最優秀賞

1986 年 バルセロナ大会 優秀賞

※2016 年 オーランド大会 ポスターTop10 にも選出

※2020 年 専門学術誌 “IFSCC Magazine” において、
優秀賞にあたる Henry Maso Award Honorary Mention を受賞